

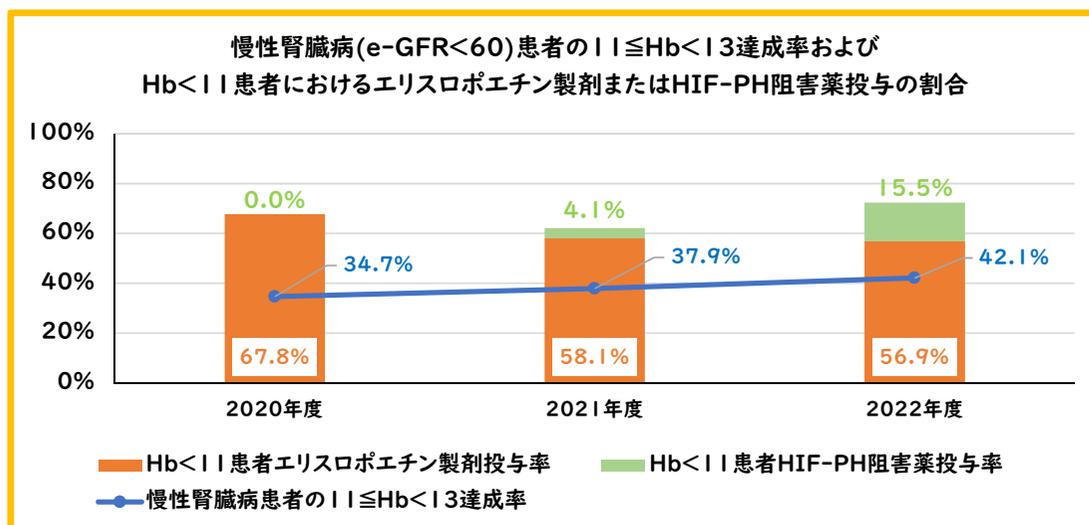
4 慢性腎臓病(e-GFR<60)患者の11<Hb<13達成率およびHb<10患者におけるエリスロポエチン製剤とHIF-PH阻害薬投与の割合

腎臓内科

◆解説◆

慢性腎臓病患者ではステージの進行とともにエリスロポエチン産生が低下し腎性貧血を来します。腎性貧血は心不全の増悪や腎症進展にも関連することが報告されており、腎性貧血の改善は心不全および腎症進展予防にも繋がるため、ガイドラインでも推奨されている目標Hb濃度の達成率の評価を行いました。

◆当院の実績◆



◆自己点検評価◆

2022年度の外来通院中慢性腎臓病患者の目標Hb濃度達成率は42.1%(Hb≤11: 21.2%, Hb>13: 36.6%)と年々達成率は増加しております。目標Hb値に達していない症例のエリスロポエチン製剤およびHIF-PH阻害薬使用率は72.4%と、昨年度と比較して増加傾向で特にHIF-PH阻害薬使用率が増加しています。

2023年6月にガイドラインが改訂され、エビデンスに基づくCKD診療ガイドライン2023が発刊されました。Hbの管理目標値が11≤Hb<13から10≤Hb<13に引き下げられましたので、Hb濃度の管理目標値を維持できるよう、引き続きエリスロポエチン製剤やHIF-PH阻害薬の投与を推進して参ります。

◆定義◆

- ①腎臓内科外来通院中の慢性腎臓病(e-GFR<60)全外来患者のうち、11≤Hb<13を達成できた患者の割合
- ②腎臓内科外来通院中の慢性腎臓病Hb<11患者のうち、エリスロポエチン製剤およびHIF-PH阻害薬投与を行っている患者の割合